医学専攻　カリキュラム・ポリシー

【教育内容】

専攻共通科目では、研究者に求められる生命科学・医学研究の遂行に必要な基本的知識・技術を集中して体系的かつ組織的に修得させるカリキュラム編成とする。

特別研究科目では、専門分野の研究テーマに主体的に取り組み、学術的価値のある論文を作成し公表する。

各コースの目的により、授業科目には専門性の高い科目群を配置し、高度に専門化した医学・医療知識と技術を身に付ける。

- 生命科学コースは、医学を中心とした生命科学の専門的知識と研究推進に要する技術の獲得を促進するための科目を配置する。
- 医療学コースは、臨床研究から疫学研究までをカバーするための科目を配置し、専門医資格取得と学位取得の両方を目指す専門性の高いカリキュラム編成とする。
- 情報医療学コースは、検査値を用いて病態の動的な推移をコンピュータ上に記述する方法につき学ぶと共に研究に活用する能力を養うための科目を配置する。
- 小児神経精神医学コースは、発神経発達症群に対する専門的な診断及び治療法に関して学習し、障害に伴う心理社会的問題にも対処できる能力を養うための科目を配置する。
- MD-PhD コースは、高知大学医学部医学科で先端医療学コースを履修した者が、卒業後、高度な専門知識に加えて広い視野をもち研究を更に深化発展させるための科目を配置し、コース横断的なカリキュラムを構成する。
- 海洋医学コースは、海洋科学に関連した医学研究に必要な専門的知識と技術の獲得を促進するための科目を配置してカリキュラムを構成する。

【教育方法】

（科目履修）

学生の事情に配慮した柔軟な教育体制を敷く。専門的知識の習得のための座学や実践的なスキルを養成するための演習の他、少人数のゼミナール形式を取り入れ、昼間開講、夜間開講、週末を利用した集中講義等、多様な開講形態をとる。

また、学生自身が授業を企画・立案し、実施すること等の学生主体型授業を推進し、学生の課題探求能力、企画・提案能力、コミュニケーション能力、発表能力等を養う。

（研究指導）

特別研究科目では、幅広い分野からの指導を可能とするために、複数指導教員による研究指導を実施する。

【教育評価】

（学修評価）

学修の評価については、本学が定める成績評価基準に基づいて評価を行う。

（カリキュラム評価）

学生の学習成果や専門領域の研究動向、学外からの評価、意見を参照しつつ、カリキュラム評価を実施し、改善を行う。